

建築工事・解体工事を実施される皆様へ

工事中の建築物における火災の主な原因

【溶接・溶断】【電気作業】【放 火】【た ば こ】



■ 工事中的出火防止対策 ■

今すぐチェック★



☐ 火気を使用する際は周囲に可燃物を置かない



木材やウレタンフォームに火花が飛んで火災になった事例があります。

☐ 溶接・溶断作業は**不燃シート**で遮蔽&消火器等の準備



特に火花の飛散範囲は散水や不燃シートで遮蔽するなどの措置をしましょう。

☐ 決められた場所以外で喫煙は禁止



灰皿は金属製のものを使用しましょう。

☐ 常に整理整頓し、施錠管理も忘れずに



放火されない環境をつくりましょう。

☐ 塗料等の危険物は必ず保管庫で保管



使用する時の持ち出しは必要最低限にしましょう。



ご不明な点は各区消防署予防課までお問い合わせください。

千種消防署	764-0119	東消防署	935-0119	北消防署	981-0119	西消防署	521-0119
中村消防署	481-0119	中消防署	231-0119	昭和消防署	841-0119	瑞穂消防署	852-0119
熱田消防署	671-0119	中川消防署	363-0119	港消防署	661-0119	南消防署	825-0119
守山消防署	791-0119	緑消防署	896-0119	名東消防署	703-0119	天白消防署	801-0119

名古屋市消防局

出火防止を！

溶接作業等での



近年、工事中の建築物において大規模な火災が発生し、多数の死傷者が発生しています。

【火災事例】① 平成30年7月 東京都多摩市 **5名死亡**

② 令和2年4月 韓国京畿道利川市 **38名死亡**（調査中）

名古屋市内においても、毎年、工事中の建築物における火災が数件発生しています。

今一度、工事中的出火防止について、万全な対策を図っていただくようお願いします。